



# 仲間と共に

学校目標 「めあてをもち 仲間と共に やりぬく心」

令和6年7月1日

## 未来を見据えて 今を創る

校長 石田耕太郎

令和6年6月20日(木)、遠くに見える山の端から静かに近づいてくるセスナ機の機影に向かって、児童・教職員が三輪南小学校のスクールカラーである黄色、赤色、青色のエプロンを広げて待ち構えました。セスナ機は私たちが作る人文字の上を2回、3回と旋回し、やがて翼を上下に振りながら飛び去って行きました。

昭和39年4月、当時の岐阜市立春近小学校と岐阜市立巖美小学校が合併し、岐阜市立三輪南小学校が誕生しました。前述した情景は、その日から60年目を迎えた記念の航空写真の撮影場面です。三輪南小学校誕生から昨年度末までに、実に6110名の卒業生を送り出しました。60年間の歩みは、卒業された先輩方と先生方、そして保護者や地域の皆さまが手を取り合い、知恵を出し合い、力を合わせて創り上げてきました。その上に、今があります。このことは決して忘れてはなりません。



校庭に書かれた「60」の文字  
どんな人文字になるのでしょうか

6月27日(木)、28日(金)の2日間野外学習が行われました。野外学習は、毎年5年生がふるさと三輪の地にある岐阜市少年自然の家において1泊2日の日程で行われます。野外学習で初めて、親元を離れて宿泊する児童もあり、楽しみにしながらも少しの不安を感じている様子も感じられました。

今回の野外学習では、初めて三輪北小学校と共同の活動であるキャンプファイヤーを行うこととしました。将来、三輪南小学校と三輪北小学校の児童は、ともに三輪中学校へ進学します。その時、初めて顔を合わせるのではなく、今回ともに活動を創り上げることを通して、互いに知り合うとともに共通の思い出をつくることを目的にしました。そのため、キャンプファイヤーで行う活動は、両校がともに準備しました。そして、三輪北小学校担当の「じゃんけん列車」と「ジンギスカン」、三輪南小学校担当の「猛獣狩りに行こうよ」と「マイムマイム」を互いに事前練習して当日を迎えました。両校が混ざり合っ



活動する中では、「同じ中学校に入るのだから、仲良くなろう」と言った声や積極的に関わろうとする姿が見られるなど、小学校の垣根を越えた交流を行うことができました。キャンプファイヤーの最後には、全員で Believe を歌いました。夜のとぼりがおりたキャンプファイヤーの炎に赤々と照らされた子供たちの顔は、「この仲間と一緒にいたら信じ合い、中学校でも頑張っていける」と語っているように見えました。

先輩方が創り上げてきた伝統を基盤としつつ、今の私たちも未来を創るべく新たな取り組みを模索し、子供たちとともに歩んでいきます。